

# 「平成26年度 わくわく交流会」

～みんなで考えよう 安城の協働～

まとめ

- 1 日時 平成27年2月22日（日）午前9時～
- 2 会場 安城市文化センター 大会議室
- 3 内容 62名の市民、市民活動団体の方に参加いただき開催しました。  
【第1部】：市民活動補助金を活用して、安城の様々な課題に取り組んだ9団体の事業の成果発表を行いました。  
【第2部】：ファシリテーターとして活動助っ人座代表 守随純子氏をお招きして、参加者全員で安城市の協働についてワークショップを行いました。



## ■第1部 各団体の成果報告へのコメント

### 1. 自然に学び・ローゼルを育てる会 (OTR安城モデル「障がい者の働く場所を増やす」活動)

- ・障がい者の働く場を増やすという事業であるならば、販売場所等については、安城という場所にこだわらず、そこで働き、自ら生活できるという基盤を作ることが最終目標だと考える。あらゆるところで販売を増やせるようにがんばって欲しい。

### 2. 特定非営利活動法人幸せな家庭環境をつくる会 安城支部 (積み木 気こころ運動)

- ・積み木については、非常によい教材だと思うが、全幼稚園・保育園に配ることが目的になっていないか。
- ・本事業によってどのような社会を目指しているのか、アウトカム（成果）を意識して事業を実施してほしい。

### 3. 日本将棋連盟 安城支部 (安城七夕ふれあい将棋大会)

- ・将棋大会を実施することによって、団体にとっての成果・効果があり、市民活動補助金を受けることによって、どのようにステップアップができたかということをもっとアピールしてほしい。

### 4. 特定非営利活動法人おやこでのびっこ安城 (中学生とともに考える「子どもの権利条約」)

- ・今後も他の中学校にも継続して行っていくためには、教育委員会にも働きかけながら行っていけるとよい。1回の講演を聴いて終わりではなく、実施した後のフォローが重要である。次へのアクションにつなげていって一連の流れができれば浸透していくと考える。

5. 特定非営利活動法人コミュニティサポーターほっぴ  
(安城TED「伝えたい価値のあるHuman activities (人間活動)」発信事業)

- ・自分たちをどのように見せていくのか、人集めなども非常に難しい部分である。このような活動をやってみようと思う人をフォローできるような仕組みが必要だと考える。
- ・パーポイントについても、さらに見やすくすれば効果的に伝わると思う。

6. 国際交流安城はなのき会  
(多文化理解のつどい(連続講座とフォーラム))

- ・たくさんの人を巻き込んで事業を実施したところは非常によい。
- ・資料から「住民」という言葉が使われているが、どのような「住民」なのかが明確になっていないので、ターゲットを明確にしたら、さらに成果もわかりやすくなると思う。

7. 桜井凧保存会  
(第12回安城凧あげ大会)

- ・伝統的な活動は、途絶えると再開することが難しいことから、継続的に行っていくためには後継者の養成の視点が非常に重要である。
- ・後継者の養成を意識した活動を継続して行ってほしい。

8. 特定非営利活動法人安城まちなりの学校  
(障がいのある子たちが元気になる「あとりえ・クレッシェンド」)

- ・今年度に補助金を活用して行った陶芸の取組を強調したほうが、成果としてはわかりやすい。アピールした重要なことを最初に説明したほうがよかった。
- ・素晴らしい活動であるので、学校や教育委員会と一緒に継続してけるよう、今後検討していただきたい。

9. 安城市民やろMYプログラム実行隊  
(中心市街地における「健康ふれあい居場所づくり」協働実験事業)

- ・講座を受講された人がその後の実践の場として活動していることは非常によい。市民団体とのコラボをどのように実施していくかが重要。今後は他の地域でも展開していけるようにしていただきたい。
- ・サービスに見合う料金設定も検討すべき。

**【守随氏の総括】**

- ・事業のあり方等を再構築し、次へのステップアップ、活力剤として補助金を活用してほしい。
- ・補助金によって、実現できたこと、解決したことを見えるようにして、もっとアピールすべき。
- ・事業を実施することが目標ではなく、事業実施により参加者や地域、また関わった人がどのように変わってほしいかということが最終目標であり、そこを意識してほしい。
- ・プレゼンテーションは、まず結論から。また、決められた時間の中で説明することが大事。

## ■第2部 わくわく交流カフェ～みんなで考えよう 安城の協働

ファシリテーター守随純子氏に進行役をお願いして、下記テーマについてワークショップ形式で10グループによる話し合いをしました。

テーマ：安城市における市民参加と協働のまちづくりを考える



グループごとに、3つの視点で話し合いました。

### 【話し合い1】

- ①協働に期待すること／協働の良いところ
- ② 協働で不安に思うこと

### 【話し合い2】

話し合い1の2つの課題に解決の知恵を出し合おう！

### 【話し合い3】

安城の協働の姿とは？  
～こんな協働できるといいな！～



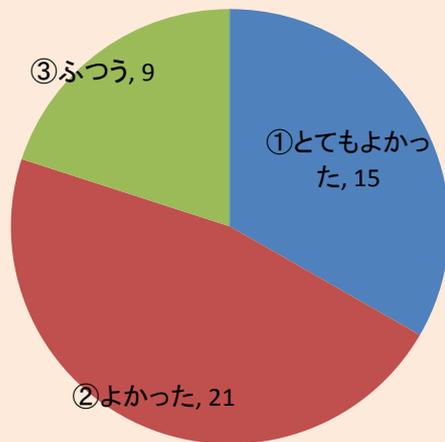
### 《各グループが話し合った安城の協働のすがた》

- ・地域に埋もれている人を発掘・紹介し、協働をきっかけに新しいコミュニティづくりをしていきたい。
- ・人が集まる場と機会、団体と交流する機会が必要である。
- ・定期的に交流の場を作ることによって互いの活動を知り、複数の団体が対等な関係で大きな行動力を起こす。
- ・負担なく協調できるよう継続していきたい。
- ・若い世代が活動し出す安城
- ・丸投げでなくお互いを全力で支援しあう関係
- ・年代、性別、職業など偏らない活動
- ・裾野を広げられるようなプラットフォームが必要
- ・家族、隣近所が安心して暮らせる地域でありたい。
- ・対等な関係(行政と市民・団体)
- ・活動に見合った資金の支援が必要
- ・活動に必要な情報公開の方法を充実する



## ■アンケート結果

### 1 (前半)各団体の事業発表はいかがでしたか？



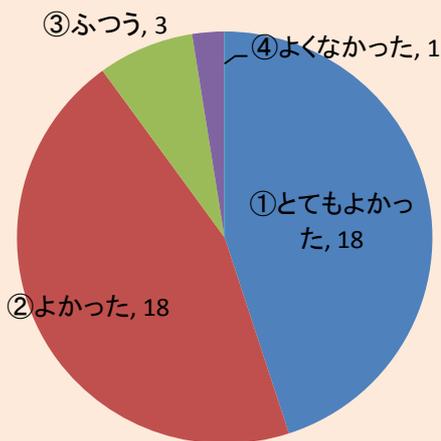
回答者数 45名  
回答率 72.6%

- ①とてもよかった
- ②よかった
- ③ふつう
- ④よくなかった
- ⑤とてもよくなかった

#### 《主な意見》

- ・資金を得て活動する難しさを知った。
- ・各グループの四苦八苦の様子もうかがえてよかった
- ・今後のグループ活動に活かせる。視野が広がった。
- ・各団体の成果をまとめられるとよい。一定の様式でまとめると寄付集めなどにも活用できる。

### 2 (後半)協働についてのワークショップはいかがでしたか？



回答者数 40名  
回答率 64.5%

- ①とてもよかった
- ②よかった
- ③ふつう
- ④よくなかった
- ⑤とてもよくなかった

#### 《主な意見》

- ・経験豊かなさまざまな人たちと話ができよかった。
- ・個人の意見を出し合うことで別の考え方がわかるよい機会になった。
- ・ファシリテーターの進め方はよかった。
- ・もっと、他の団体とも交流したいと思った。
- ・協働の理解はまだまだ進んでいない。
- ・ポストイットの色分けが整理しやすかった。